

開講科目名 / Course	特別支援教育論 / Special *needs* education theory
時間割コード / Course Code	VED1004
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	木 / Thu. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1,2,3,4,5,6
主担当教員 / Main Instructor	三浦 巧也 / MIURA Takuya
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	1講 - 24 / 1講 - 24
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	三浦 巧也 / MIURA Takuya (工学府 / Graduate School of Engineering)
概要 / Outline	<p>シリウスもしくはGoogleクラスルームにて、授業資料と課題を配信する。 オンライン/オンデマンド授業を予定している。</p> <p>しかし、グループワークがあるため、グループワークの時間を各自調整する必要がある。通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする児童生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、児童生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。授業の後半では、学生らが主体的に実践的知識を習得することを目的として彼らに協同学習を展開させ、特別な配慮を要する児童生徒の理解と支援のあり方を学び合う機会を設ける次第である。</p>
到達基準 / Standard	今日の教育現場で起こっている様々な課題を子どもの発達段階に応じて理解し、支援方法について学ぶことは、将来、子どもの教育的支援に関わる仕事に携わる者にとって必要不可欠である。本授業では、特別な配慮を要する児童生徒に関する基礎的知識の習得を目指すと共に、彼らへの適切な支援を組織的に行う際に必要な知識や態度、方法を学ぶ。
授業内容 / Schedule	<p>第1回：特別支援教育・インクルーシブ教育 / 特別な教育的ニーズに着目して</p> <p>第2回：知的障害・発達障害・視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱の理解</p> <p>第3回：通級での指導及び自立活動 / SST・CBTに着目して</p> <p>第4回：個別の教育支援計画・個別の指導計画・特別支援教育コーディネーターの役割</p> <p>第5回：グループディスカッション（特別な支援を要する児童生徒の理解を考える）</p> <p>第6回：グループディスカッション（特別な支援を要する児童生徒の支援を考える）</p> <p>第7回：第5回・6回を踏まえたワールドカフェ方式による協同学習 (特別な支援を要する児童生徒の理解と支援に関する発表)</p> <p>第8回：第1回～7回に関するまとめ及び、定期試験</p>
履修条件・関連項目 / Requirements	
テキスト・教科書 / Text book	尾高邦生ら(2025)教職課程コアカリキュラム対応版 キーワードで読み解く特別支援教育・障害児保育&教育相談・生徒指導・キャリア教育〔第2版〕(単行本)・福村出版.SBN9784571121500
参考書 / Reference book	中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領・生徒指導提要
成績評価の方法 / Grading	オンライン教育における成績評価方法は、すべての出席を前提としています。評価の割合は以下の通りです。毎回の小レポートを含む平常点、課題および課題レポートで評価します。
教員から一言 / Something	
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	
備考1 / Note 1	クラスルームもしくはシリウスを参照すること。

備考2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	英語/English

授業計画詳細 / Course schedule

回（日時）	主題と位置付け（担当）	学習方法と内容	備考
第8回			
第9回			
第10回			
グループ一覧			
第11回			
第12回			
第13回			
第14・15回			
補足			授業の進行状況に応じて、授業内容を修正する可能性がある

開講科目名 / Course	特別支援教育論 / Special *needs* education theory
時間割コード / Course Code	V0218
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	火 / Tue. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	三浦 巧也 / MIURA Takuya
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	L1321 / L1321
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	三浦 巧也 / MIURA Takuya (工学府 / Graduate School of Engineering)
概要 / Outline	<p>シリウスもしくはGoogleクラスルームにて、授業資料と課題を配信する。 オンライン / オンデマンド授業を予定している。</p> <p>しかし、グループワークがあるため、グループワークの時間を各自調整する必要がある。通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする児童生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、児童生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。授業の後半では、学生らが主体的に実践的知識を習得することを目的として彼らに協同学習を展開させ、特別な配慮を要する児童生徒の理解と支援のあり方を学び合う機会を設ける次第である。</p>
到達基準 / Standard	今日の教育現場で起こっている様々な課題を子どもの発達段階に応じて理解し、支援方法について学ぶことは、将来、子どもの教育的支援に関わる仕事に携わる者にとって必要不可欠である。本授業では、特別な配慮を要する児童生徒に関する基礎的知識の習得を目指すと共に、彼らへの適切な支援を組織的に行う際に必要な知識や態度、方法を学ぶ。
授業内容 / Schedule	<p>第1回：特別支援教育・インクルーシブ教育 / 特別な教育的ニーズに着目して</p> <p>第2回：知的障害・発達障害・視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱の理解</p> <p>第3回：通級での指導及び自立活動 / SST・CBTに着目して</p> <p>第4回：個別の教育支援計画・個別の指導計画・特別支援教育コーディネーターの役割</p> <p>第5回：グループディスカッション（特別な支援を要する児童生徒の理解を考える）</p> <p>第6回：グループディスカッション（特別な支援を要する児童生徒の支援を考える）</p> <p>第7回：第5回・6回を踏まえたワールドカフェ方式による協同学習 (特別な支援を要する児童生徒の理解と支援に関する発表)</p> <p>第8回：第1回～7回に関するまとめ及び、定期試験</p>
履修条件・関連項目 / Requirements	
テキスト・教科書 / Text book	尾高邦生ら（2025）教職課程コアカリキュラム対応版 キーワードで読み解く特別支援教育・障害児保育&教育相談・生徒指導・キャリア教育〔第2版〕（単行本）. 福村出版.SBN 9784571121500
参考書 / Reference book	中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領・生徒指導提要
成績評価の方法 / Grading	オンライン教育における成績評価方法は、すべての出席を前提としています。評価の割合は以下の通りです。毎回の小レポートを含む平常点、課題および課題レポートで評価します。
教員から一言 / Something	
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	教職課程科目を履修する学生が相談できるように、相談窓口を設置いたします。対面・オンライン・電話等でも可能とします。一人ひとりの相談を大事にしたいため、基本的に予約制とします。

備考1 / Note 1	クラスルームもしくはシリウスを参照すること。
備考2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	英語/English

授業計画詳細 / Course schedule

回（日時）	主題と位置付け（担当）	学習方法と内容	備考
第8回			
第9回			
第10回			
グループ一覧			
第11回			
第12回			
第13回			
第14・15回			
補足			授業の進行状況に応じて、授業内容を修正する可能性がある